



「雲岡石仏」(中国)

佐谷 禎介 さん撮影

カメラ ニコンF6
絞リ F8オート
フィルム コダック

ピンボケ会

特選

青梅の風のまにまに落ちてにけり

大塚 和子

万緑の山が応へし木霊かな

森本 妙子

本選

万緑やバコダの白き屋根一つ

花田ムツ子

万緑や今日も轆轤に壺生まる

藤田 昌愁

省略の出来ぬ一手間青梅に

原口 孝子

俳句会

(六月例会)

大庭土筆選

短歌会

(七月例会)

矢野京子選

焼きたてのイギリスパンのやはらかくて切れねば一斤そのまを買ふ

香月 昭子

梅雨に入り半月ぶりの喜雨となるうなだるる葉をおこす紫陽花

神崎 鈴子

新築の予算オーバーに見積りの減らせる箇所をと夫は見つむる

藤川ミヤ子

夕闇の川面に沿ひて舞ふホタル夏惜しむがにひかりの強し

小川 孝世

杖にせむ握りの太き椿の木ひそか探すに枯葉のさわぐ

住田 則雄



花に込める、美しい町づくりへの思い

雨模様の7月7日の夕方、土居四角から200号バイパスへと真っ直ぐ伸びる歩道の街路樹の根元に、土居一区の婦人会が、花の苗植えを行いました。“自分たちで何かできる町づくりはないか？”と考え、毎月行っている廃品回収の助成金の一部で、嘉穂総合高校から花の苗300本を購入して植えました。“美しい町になるように！”との思いのこもった花たちが桂川町のメイン通りを彩っています。



他に誇れる取り組みです！

小雨降る7月8日早朝、桂川東小学校の校門前では、毎朝登校を見守る地域の人たちと一緒に、小中学校の児童、生徒たちが、元気に朝の声かけを行う姿がありました。これは、小中学校の児童、生徒の交流や、中学生の自覚と規範意識を育てる取り組みの一つです。桂川小学校でも同様の取り組みが行われています。また、飯塚保護区保護司会と飯塚教育委員会合同の研修会では、桂川町の保護司によって、これらの取り組みやその他様々な学校の正常化につながった例が紹介され、町外の教育現場からも注目を浴びています。こうした取り組みの継続と、学校や保護者のみならず地域の人たちの温かい理解と行動により、桂川っ子はますます元気に育っていきます。これからも、桂川っ子たちをよろしく願います。

編集＊後記

- ▶ 先月、住民の方から広報紙面内に使っている「アンケート調査」は、誤った言葉の使い方であるのご指摘を頂きました。「アンケート」を辞書で調べると「調査の意」となっていました。
- ▶ 最近、子育てに関するテレビ番組の中で“なるほど！”と実感させられることがありました。それは「物の名前や言葉は、生まれた最初の時からきちんとした正しい呼び名で呼び教える。」ということです。
- ▶ 3歳になった我が子と“あいうえおカード”で遊んでいると、ひらがなの「う」を覚えるために「うま」の絵が描いてあるカードを出すと、「うま」の「う」ではなく、「おうまん」の「お」と答えてしまいます。“三つ子の魂百まで”とはよく言ったもので、何度「うま」と教え直しても一度覚えたこの「お」は、しばらくは外れてくれそうもありません。
- ▶ 子育てにおいても、広報作成においても、正しい言葉の使い方について考えさせられた7月でした。(齊藤)



広報紙に関するお問合せは、☎65・1082まで